

飼育員は見たべあ！

のぼりべつ
クマ牧場通信
4号

2017年
10月1日

発行

のぼりべつ
クマ牧場
動物課

子グマのハンティングタイム

狩りの刻だ

ニジマスの生簀にいざ、出陣

のぼりべつクマ牧場では9月9日～10月9日の土日祝日の日程で「子グマのハンティングタイム」を開催しています。内容は、子グマ牧場に期間限定で設置された生簀に生きたニジマスを放ち、子グ



生簀に放たれたニジマスをゲット
9月9日、コテツ



マたちが捕まえるというものです。9月2日・3日で予行練習を行いました、それが彼らの初陣となりました。最初は放流されたニジマスに気づくことができず、飼育員が生簀の中に魚がいるということをお知らせするもなかなか伝わりません。その後、魚影に気づいたコテツが先手を取り、水の中へダイブします。そして、ガラス越しにニジマスを発見したダイチは遅れながらも、ニジマスハンティングに参戦していききました。

初めて生きた魚を見る子グマたちは、恐る恐るニジマスへ手を伸ばすも、すぐに逃げられてしまい、捕まえることが難しそうです。見かねた飼育員が水位を減らすと、見事コテツが1匹のニジマスを捕

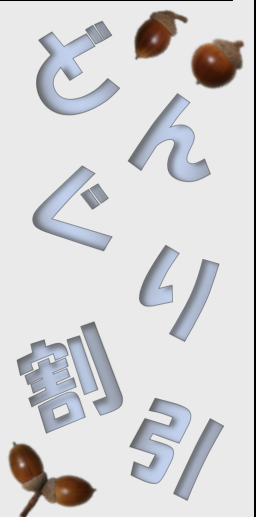
えることに成功しました。コテツに続いてダイチもニジマスをゲットします。食えるときは生簀から出て、獲物がとられない安全な陸地へ移動をしていました。両者とも頭からかぶりついていましたが、観察をしていると食えることより、捕まえることのほうが楽しそうに見えました。動くものを追いかけるというクマの本能が働いているのかもしれない。

ハンティングを続けていると動きに性格が出ていくことに気がつきました。血気盛んなコテツはニジマスに対して序盤から猪突猛進な姿勢を見せるの比べ、甘えん坊のダイチはコテツよりも積極性で一步劣るようなようでした。

そして回を重ねるごとに段々と技術も上達していききました。ぎこちない手つきは大人顔負けの手捌きへと成長していき、捕獲にかかる時間も減少していききました。回ごとに違った動きを見せてくれる2頭のハンティングタイムを、その目でとくとごらんあれ！



水中を探るときは、耳を水の中に入れない
= 9月9日、コテツ



あなたのとんがりが大活躍！

季節も移り変わり、実りの秋となりました。のぼりべつクマ牧場では、毎年この季節になると「どんがり割引」を行います。

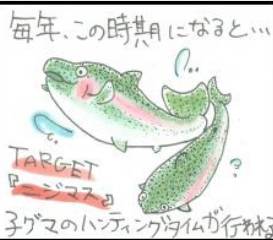
一体、集まったどんぐりはどうなっているのでしょうか。実は、すべてクマとリスのごはんになっています。クマたちにとってどんぐりは、秋の大事な食糧なのです。お昼ごはんの時間帯に運がよければ、どんぐりを食べている子グマやリスが観察できるかもしれません。

今年10月14日～11月30日の日程で開催します。たくさんのご参加をお待ちしています！詳しくは公式ホームページまで。



どんぐりの殻を割って器用に食べている
9月22日、写真上段子グマのコテツ、下段エゾリスのタイヨウ

のぼりぐま 劇場



ありがとうクララ、お疲れ様キコ

第二牧場からの卒業！

| | | |
|-------|-----|-----------------|
| 1990年 | 1月 | 母・ヨシコから双子の |
| 2000年 | 12月 | テッコツムスメとともに生まれる |
| 2001年 | 12月 | 第二牧場デビュー |
| 2008年 | 12月 | 第二牧場からほかの群れへ移動 |
| 2015年 | 10月 | 再び第二牧場へ復帰 |
| 2017年 | 8月 | 第二牧場引退 |

今年夏は夏の終わりとともに、2頭のメスグマが第二牧場を引退しました。長きに渡り第二牧場を支えてくれたクララとキコ。現在はクマ牧場のバックヤードで変わらず元気に生活をしています。

新居の獣舎には、以前第二牧場でともに活躍をしていたノリピー、メリリン、モンコなどがいて、すぐに打ち解けていました。節目の年でもありますので、彼女たちの熊生を振り返ってみましょう。



キコ(27) クララ(26)

※クマの年齢を約3倍すると人間の年齢に換算できるといわれています。

突撃!!

インタビュー

出張版 in ユーカラの里



造園業・民芸品職人 尾崎剛さん

普段聞くことのできない裏話やエピソードを紹介するこのコーナー。23戸ものチセを手掛けてきた職人へ突撃取材！
 (①) || リポーター、(②) || 尾崎さん

① 今回、チセ改築仕事を担当された尾崎剛さんにお話を伺いました。まず、チセとは何でしょうか？

② アイヌ民族が暮らしていた家です。チセの集落は道内に点在していましたが、昭和45年ごろから居住している方をあまり見なくなりました。

③ チセには、人が住んでいたのですね。ちなみに素材は何でできていますでしょうか？

④ カヤやヤチダモを用いて造っています。釘は不使用で、カヤは「サクマ」と呼ばれる横木で支えています。他にも壁側、土台を支えるものを「サキリ」、「カタギ」と呼びます。金物を一切使わずに造られていると思うと感動します。こ

⑤ ろれで雨や雪を防げてしまうのは驚きです！工期は1カ月でしたが、建築にかかった所要日数はどれほどでしょうか？

⑥ 実質、1日間ほどでできあがりしました。

⑦ そうなのですね！では、最後に造る上で特に気を使った点と、来場者にどのようなところを観ていただきたいか、一言よろしくお願ひします。

⑧ 気を使った点は、チセの玄関「セム」の部分です。屋根が谷間になっていて、とても雨漏りしやすいのでカヤを厚くする工夫を施しました。観てもらいたい場所は、「ケツニ」です。チセ内の天井を覗いていただければ分かると思います。ヤチダモでチセを支えています。そして3点の接合部を紐のみで固定しているところなどですかね。

⑨ 尾崎さん、ありがとうございます。チセのオープンが益々楽しみです。チセのオープンの外装は現在も観ることができそうですので、職人の技を肌で感じてください！

※10月1日からチセ・生活用具を展示予定。

